

学校教育目標

自ら考え 行動し 挑戦する子どもの育成 ～自考・自行・自挑～

めざす子ども像 【21世紀型“スキル&倫理観”】

思考力・創造力	自ら問いを見つけ、見通しを持って、調べたり考えたりしながら解決することができる。
表現力	目的や理由・根拠をとらえ、相手意識を持ち、自分の考えを伝えることができる。
思いやり	お互いの立場や意見を尊重し、相手も自分も大切にし、協働しながら生活を高めることができる。
能動的市民性	身の回りから課題を見つけ、学校生活をよりよくするために、仲間と協力して解決することができる。

研究主題

問いを持ち、「対話」を通して、学びを深める子どもの育成
～付ける力を明確にした言語活動の充実～

国語・算数・特別活動・生活&総合的な学習の時間を中心に

【教育研究部】

○基礎学力の充実

- ・チャレンジタイムを活用して漢字、計算の定着を図る。
- ・必然性のある学習活動及び自己目標と教師からの評価を行う。

○「対話」を通じた学習力の向上

学習での学びを自己の言葉でまとめたり、振り返ったりすることで、学力の向上を図る。

○主体的に学ぶ姿勢の育成

チャレンジデーを通して、自ら問いや課題を見つけ、追究していくことで学ぶ楽しさを実感させる。

○授業力の向上

学びづくりタイムを通して、職員同士が対話を行い、付ける力を明確にした授業づくりを行う。

【生徒指導部】

○異年齢・多様な友だちとの関わり
・縦割り班活動・掃除を実施することを通して、異年齢の児童と関わる機会を設け、協働する力を高める。
・学級内において、グルーピングの工夫を行い、多様な他者との関係を築いていく。

○「みんなのすてき」掲示板
・日常生活で見られた児童のすてきな場面を切り取って教師の評価と共に掲示することで、子ども達のよりよい学校生活の充実につなげる。

○委員会活動の充実
・従来の委員会活動に加え、子ども達の意見から新たに委員会を創設したり、新しい活動を増やしたりする。自ら考え、行動に移す児童の育成を目指す。

○あいさつの励行
・ライフスキル教育をもとに、子ども達に「なぜあいさつをするか」を考えさせ、時と場に合わせた適切なあいさつができるようにする。

【健康安全部】

○運動量の確保
・運動量を確保した授業づくりについて職員同士で対話を行い、児童の体力向上につながる授業づくりを行う。
・体育的行事を見直すことで、より活発に運動できる機会をつくる。

○課題解決能力の育成
・自己の学習を振り返るためにワークシートを活用し、本時での学びの成果を積み上げるとともに、次時の授業の自己課題を考える。

○家庭学習の充実
・休日の家庭学習として、児童が自ら考えた「体力づくり」に取り組み、その様子をタブレットの動画で撮影し、クラスで共有する。

○運動意欲の向上
・前段運動を取り入れて準備運動を行う時点から運動意欲を高める。
・「縄跳び検定」など、児童が粘り強く運動できる取組を行う。